

# 畜産みやぎ

題字  
宮城県知事 山本 壮一郎  
発行所  
仙台市上杉一丁目2番16号  
社団法人 宮城県畜産会  
電話 (62-9180)  
編集発行人 大石 武一  
定価 1部50円  
印刷所 K K 東北プリント



畜産後継者の育成 (宮城県農業実践大学校畜産学部)

## もくじ

昭和55年度畜産施策あらまし	2
(社)宮城県畜産開発公社と(社)宮城県農地管理公社が合併「(社)宮城県農業公社」発足	3
大石武一氏勲一等旭日大綬章に輝く!!	3
昭和54年度生乳計画生産の結果について	4
系統農協における種豚改良増殖体制について	4
東西南北、きれいな畜産環境づくり	6
畜舎臭気の実態調査と防除対策	7
酪農コンサルテーション雑感	9
子取り用めす豚飼養頭数実態調査結果について	11
随想	11
牛乳のむ人は胃ガンにかかる率が低い	12
人物紹介	12
畜産物市況	12
人の動き	12

牛乳を飲んでる  
食べてる健康一家

# 昭和55年度畜産事業 施策のあらまし

## 宮城県畜産課長

米作偏重の生産構造から均衡のとれた複合的農業経営への転換を促進するため、積極的に畜産振興を図るものとするが、現下の畜産情勢は、水田利用再編対策の推進で畜産の生産は刺激され、各畜種とも飼養戸数の減少度は鈍化しているにもかかわらず、飼養頭数は前年に引続き増加しつつあり、牛肉を除く、生乳、豚、鶏卵、ブロイラーの生産は需要を上回る伸びで推移しており、需給失調傾向が続いています。

従って、このような畜産をめぐる諸情勢の変化に対処して計画生産による畜産物の安定供給と畜産経営の健全化を図るため、昭和55年度においては、次の諸点に重点において、各般の施策を推進するものとします。

### 1 家畜生産振興対策

需要の動向に即応した畜産物の安定生産と、生産性の高い畜産経営の育成を図るため、生産団地の育成、家畜の改良増殖、家畜導入等の生産振興対策を推進する。

生産団地育成については、前年度からの、酪農、肉用牛、養豚の団地育成事業を引続き実施し、地域一貫生産体制の確立を促進する。改良増殖関係では優良乳用種雄牛選抜および乳用牛群改良推進事業を継続実施する。また、本年度から新たに、今日までに確立された肉用牛の改良手法及び改良組織を基礎として、産子調査、後代検定等により優良種雄牛を選抜確保する肉用牛集団育種推進事業を実施し肉用牛の改良事業を拡充する。

豚については、原種豚育種集団強化推進事業、優良種豚生産促進事業及び豚産肉能力直接検定普及推進事業を継続実施し豚の改良を促進することとする。

家畜導入事業については、水田等肉用牛定着化促進事業、乳用牛群整備促進事業ならびに高齢者等肉用牛飼育事業、肉用牛繁殖中核経営育成推進事業により乳、和牛の導入を促進し、経営の安定を図る。また別途水田飼料作物の効率利用と定着化のための肉用肥育素牛の導入を推進する。

また、酪農労働の特殊性を改善するため酪農ヘルパー

組織の育成を促進するため、酪農ヘルパー育成促進事業を継続実施するほか、家畜人工授精技術の向上を図るための家畜人工授精師養成講習会を強化する。

### 2 畜産物の流通改善と価格安定対策

食肉の流通改善として、県北部の肉畜主産地に、と殺解体から流通に至る一貫的な総合食肉流通施設を整備し、産地における肉畜流通の合理化を促進するための産地食肉流通施設建設事業を前年度に引続き実施し、本年度中に完成させる。このほか、仙台牛の安定生産と市場有利取引を確保するための仙台牛銘柄推進事業を更に拡充する。

畜産物価格安定対策としては、畜産物価格安定法のほか肉用子牛価格安定基金制度を強化するため加入頭数の増頭並びに保証基準価格の引上げのほか、肉牛、肉豚を対象とする畜産物価格安定基金に対しても増資及び補てん金の助成を行い、価格補償機能の強化を図る。

### 3 飼料自給度の向上対策等

粗飼料生産増強とその効率の利用促進を主体に飼料基盤の外延的拡大を図るものとする。

このため草地開発事業では、団体営草地開発事業、農業公社牧場設置事業及び公共育成牧場整備事業を計画的に推進する。また自給飼料生産事業では、既耕地における飼料作物の生産振興を図るため、新たに実施される地域農業生産総合振興事業において、粗飼料供給体制の強化を行う自給飼料生産総合振興対策を推進するとともに、肉用牛等の飼料基盤を強化し、段階的規模拡大を図るため里山等の積極的な開発事業を促進するほか、引続き水田裏飼料作物生産振興奨励、転作飼料作物の流通促進、及び流通飼料対策等を講ずる。

### 4 畜産経営環境の整備対策

家畜の濃密飼養地域の増加、農村集落の構造的変化による混住社会化等に伴って、畜産をとりまく生産環境は非常に厳しいものがある。なかでも環境汚染が種々の問題をかもしだしているため、これ等に対処するため、畜産経営環境整備基礎調査事業を実施し、実態を把握するとともに県営環境整備事業と畜産複合地域環境対策事業を引続き実施する。

また新たに、家畜ふん尿処理の合理化、効率化を図る

画期的な家畜ふん尿処理用

めづまりのない

## 多板式固液分離機

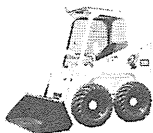
- 生ふん脱水の決定版
- 公害防止に貢献
- 省力化に威力



# 株式会社 五十嵐商会

仙台市中央三丁目5番14号

## TCM東洋トローラー



糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。  
畜産農家の近代化に  
作業の省力化に大きく貢献します。  
豊富なアタッチメント。

## TCM東洋運搬機株式会社 東北ティー・シー・エム株式会社

983 仙台市日の出町3丁目9-35  
電話 0222-95-5517・5511

ため広域処理流通型事業を実施し流通体制を計画的かつ総合的に整備する。更に有機型農業の一環として、小規模な家畜ふん尿処理モデル施設を整備し、環境保全対策を総合的に推進する。

5 家畜衛生対策

家畜伝染病並びに伝染性疾病の発生予防とまん延防止対策と併せて、一般疾病対策を強化するとともに、家畜飼養衛生環境改善及び動物用医薬品の適正使用の指導徹底を図る。

また、県家畜事故防止対策協議会との協調により、家畜集団飼育施設、公共営放牧場における事故防止対策を一層充実する。

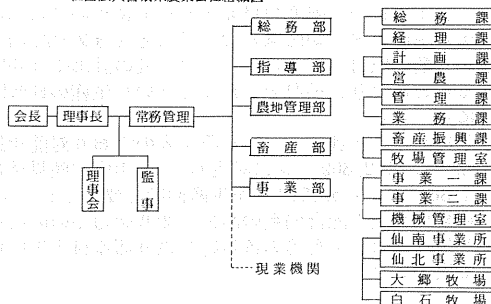
更に、家畜畜産物衛生指導協会の体制強化により、自衛防疫事業の定着拡大を推進する。

( 畜政係 )

1. 業務内容

- (1) 農地保有合理化促進に関する事業
- (2) 農業構造の改善及び農業の近代化に資する事業
- (3) 農用地の造成、改良及び整備に関する事業
- (4) 家畜の生産、育成及び供給並びにこれらに附帯する事業
- (5) 農畜産業の経営環境保全及び関連施設の整備に関する事業
- (6) 前各号に掲げる事業に係る調査、計画及び設計並びに受託
- (7) その他会社の目的達成に必要な事業

社団法人宮城県農業公社組織図



!! (社) 宮城県畜産開発公社と (社) 宮城県農地管理公社が合併 「(社) 宮城県農業公社」 発足 !!

県畜産開発公社は昭和42年11月設立され、大郷町および白石市の2カ所で肉用牛牧場を経営するほか、県、市町村、農協等の草地造成事業等を施工し、また、県農地管理公社は昭和45年12月に設立され、農用保有合理化促進のため、農用地の造成、改良及び整備等の事業を実施本県農畜産業の健全な発展に寄与し、それぞれその目的を達成してきたものであるが、今日1980年度を迎え、農地利用の集積を始め、地域農政の確立など総合的農政の展開が求められているとき、両公社の機能を飛躍的に増進させ、新しい本県農政の総合的実践機関として、本県農業の健全な発展に寄与するため、両公社が合併し「宮城県農業公社」が昭和55年4月23日に設立し、5月15日から実務が行われることになった。

なお、新会社の業務内容及び、組織は下記のとおりである。



大石 武一氏

勲一等旭日大綬章  
に輝く!!

昭和55年春の叙勲受章者が政府から4月29日発表され本会の大石会長が勲一等旭日大綬章を受章されました。

**ヒドロポンプ**

ヒドロポンプのシステム

☎ 060  
斎藤興業株式会社

札幌市中央区北5条西20丁目 電話(代)642-1122番

東北出張所 仙台市原町小田原安養寺下7-145  
☎ 983 電話57-5348・57-0563

動物用薬品器材のことなら 古い伝統  
と信頼のある東北獣医にご用命下さい

本社 仙台市上杉3丁目3-8

**東北獣医薬品株式会社**

TEL ☎ 7330・7338・7339

仙北営業所 登米郡迫町佐沼萩洗1  
02202 (2) 2278~9

山形営業所 山形市小石川四丁目9~24  
0236 (23) 9909・9900

古川営業所 遠田郡小牛田町字関根館野28  
02293 (4) 2018~9

# 昭和54年度 生乳計画生産の結果について

## 宮城県生乳販売農業協同組合連合会

生乳生産が順調に伸び、需要がそれに追いつかないという需給のアンバランスのため53年度は限度数量の大幅超過(19,230トンを超えて4,451トン超過した。)生乳の産地間競争激化など酪農経営を脅かす事態となり、また農水省も「54年度以降、限度数量オーバー分については名目のいかんを問わず一切面倒みない」ことをきめたため54年度から酪農家自ら需要に見合った生乳の計画生産を実施することになり、酪農史上かつてない「生産の抑制時代」に入った。

本県における生乳生産目標を第1表のとおり対前年比101.62%、142,802トンに設定し、54年度生産見込数量147,861トンを5,059トンを生産抑制必要量として(1)粗飼料給与増大と配合飼料の削減、(2)低能力牛の肉用化(3)哺育牛への全乳給与等の各対応で乗り切る自主生産に向けて出発した。

第1表

	54年度数量 t	53年度数量 t	増産量 t	増産率 %
本 県	142,802	140,522	2,280	1.62
うち生乳販連	139,038	136,818	2,200	1.62
「アクトサイダー」	3,764	3,704	60	1.62
全 国	6,373,000	6,259,000	114,000	1.82

以上のような目標の下に本県酪農家全員が未だ経験したことのない計画生産に不安と戸惑いを感じながら一致団結して英知を結集し自らの酪農を守るために困難を一步一步切り拓き目標達成に努めた結果、県全体としては若干の特別余乳の方策をとり又、自県内消費を含めて計画生産が達生されました。(第2表)

第2表 昭和54年度計画生産達成状況

54年度計画生産目標 t	54年度実績 t	目標に対する超過 t	超過に対する措置 自県内消費拡大 t	特別余乳 t
139,038	139,872	834	485	349

55年度も昨年度に引き続き101.04%の計画生産の割当てで既に実施されており、54年度の経験を生かして充分に対応し自らの経営を守るよう努力してまいりたい。その具体的な方法としては計画達成促進事業として、あらためて通知があるものと存じます。

時代の流れは、つくれば売れるという時代から、売れるものを売れるように計画的につくる時代にきている。ただ牛乳の場合は米やミカンや卵等と大きく違い消費が必ず伸びるという見方ができることであろう。

生産者自ら拡大均衡をめざし消費拡大に立ち上ったのもこの様な事情を踏まえた願望からであり、55年度も昨年以上に酪農家自身が総セールスマンとなって牛乳消費拡大に取り組んでまいります。

このような見方に立って、難しいことではあるが需要の見通しに生産をあわせつつ過剰生産による価格の低落、経営の圧迫を回避し得たところに酪農の前途が約束されるものと思います。

関係の方々の一層のご指導ご協力を切にお願いいたします。

(指導課、滝沢)

# 系統農協における種豚 改良増殖体制について


## 宮城県経済農業協同組合連合会

最近における畜産は構造的な生産過剰のなかで肉牛を除く、肉豚、ブロイラー、採卵鶏、酪農の各分野できびしい生産調整を余儀なくされ、これを反映して畜産物価格は、不安定な状況にある。

こうした情勢のなかで、畜産経営を安定的に発展させるためには、良質畜産物の生産や、計画生産、計画出荷による有利販売の体制確立が当面の重要課題となっている。

とくに、豚肉の品質低下が食肉販売上大きな問題として取上げられ、農家の養豚経営を不安定にしている。

これは、豚肉生産基盤における種豚の改良とその有効利用、という質的な面での体制が整備されていない点に大きな要因があると考えられる。したがって、今後肉豚資質の向上をはかり、養豚農家の経営安定に資するため




いつもフレッシュ!!

# 明治牛乳

明治乳業

酪農協の牛乳!

## 全酪牛乳



全国酪農協同組合連合会 (全酪連)  
小牛田工場 遠田郡小牛田町牛飼38  
TEL 02293-3-2211-3

に、系統農協は、全農の東西両原種豚場をその基幹施設として位置づけ、優良種豚の全国的需給調整をはかりながら種豚の安定供給を組織をあげて推進するため次の推進具体策を設定しております。

具体策

1. 系統指導品種の制定と素豚生産の交配指定の実施

(1) 指導品種の制定

系統農協における指導品種はつぎの4品種に限定指導する。

- ア、ランドレース種 (雌系品種)
- イ、大ヨークシャー種 (雌系品種)
- ウ、ハンプシャー種 (雄系品種)
- エ、デュロック種 (雄系品種)

なお、県連段階でいずれか一方の地区ごとに採用指導する。

(2) 交配指定の実施

肉豚生産における交配は、つぎのとおり指定交配を実施する。

ア、生産する肉豚は、3元雑種とする。

イ、交配は、前記指導品種をつぎのとおり3組に限定する。

ウ、(L×W)♀×H♂=LW, H

エ、(L×W)♀×D♂=LW, D

オ、(L×D)♀×H♂=LD, H

県連段階では前記3組のいずれか1組を地区ごとに限定指導する。

(3) 推進対策

交配指定に基づく三元雑種肉豚の生産を促進させるため全農、県連、単協と連携して、F<sub>1</sub>種豚の流通対策を実施する。

2. 種豚群の造成

全農と県連は、原種豚群の造成を次によりすすめる。

(1) 県連における原種豚群の造成

全農は県連と協議のうえ、つぎの条件をみたます県連について原種豚群の造成をすすめる。

ア、県連管内の日本種豚登録協会の指定種豚場を、協力種豚場として組織化できる県連

イ、他管内への種豚供給能力を備え、全農の実施する需給調整事業等に対応できる県連

ウ、組織内の改良増殖、ならびに生産技術等の指導体制がとれる県連

(2) 県連における増殖種豚群の造成

県連は、増殖種豚群を造成するため、つぎのを行う。

ア、管内の繁殖種豚群が必要とする規模の、増殖種豚群の造成を行うため、協力種豚場を組織化する。

イ、F<sub>1</sub>登録制度を採用し、生産種豚の資質向上を図る。

(3) 県連種豚場機能の明確化

県連種豚場は、生産能力ならびに管内の種豚生産基盤に応じ、原種豚群、もしくは増殖種豚群のいずれか一方の中核として位置づける。

(4) 単協における繁殖種豚群の造成

単協は、繁殖種豚群の造成とその資質向上をはかるため、つぎのを実施する。

ア、地域ぐるみ、または団地内繁殖肥育一貫型の養豚団地を促進する。

イ、指定交配を実施する。

ウ、肉豚群の枝肉成績のデータ集積体制を確立する。

3. 防疫体制の整備

各種豚群の疾病対策を強化するため、畜舎消毒装置の設置を推進する。

4. 系統農協における種豚改良体制図

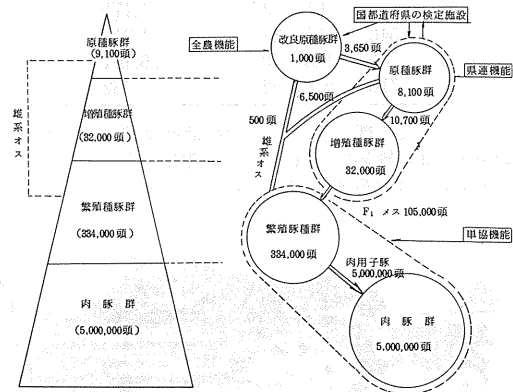
(1) 改良増殖図 ~ 図表

(2) 体制図 ~ 図表

系統農協における種豚改良増殖体制図

(1) 改良増殖図

(2) 体制図



( 酪農畜産課長 佐藤 )

飼料は みのり

- 採卵鶏用配合飼料
- ブロイラー用配合飼料
- 肉牛用配合飼料
- 乳牛用配合飼料

北日本飼料株式会社

石巻市川口町3丁目2番8号  
TEL 石巻 02252 (5) 4171~4

畜産公害を追放する

家畜糞尿処理工事

畜舎工事

さく井工事

設計・施工

ポンプ工事

水処理工事

株式会社 北辰技術

仙台市鉄砲町18番地  
電話 (0222) (93)2461

# 東 西 南 北

## きれいな畜産環境づくり

管内若柳町は郡内では最も養豚肥育牛等肉畜経営の旺んな町で、養豚については殆んどが一貫経営で年間肉豚16,808頭の出荷、肥育牛については芝浦と場へ781頭桜マーク(若柳牛)の銘柄牛として出荷し高く評価されています。又栗駒山の雪とけの清き水による、日本一、おいしい「さきにしき」の稲作を基幹に養豚、肥育牛、野菜等の複合経営の多い地帯で同町の場合有畜農家と無畜農家を有機的に結びつけ堆肥の広域利用を図ったことが特徴のひとつです。

堆肥は農地還元が一番と笑えむ若柳町藤原農林課長さん



次に若柳町畜産の概要を紹介すると下記のとおりです。

種別 区分	戸数	耕地面積		一戸当り		糞尿 排出量 t	備 考
		水田 ha	畑 ha	飼養頭数 頭	糞尿 排出量 t		
総農家戸数	2,022	2,905	284	-	-	-	
畜産農家	887	1,380	136	-	39,618		
内 訳	酪農	48	65	13	-	1,170	
	肉牛	540	861	81	-	21,715	
	養豚	280	448	42	-	16,101	
	養鶏	716	専3	専02	-	632	

以上のような実態であり、畜産の進展に伴う糞尿の処理については、極めて心配すべき事態であります。現在畜産農家の糞尿処理については、稲わら交換を合

む殆んどが堆肥生産による農地還元であるがまだまだ野積の堆肥や汚水の流失等も見受けられ水質汚濁や、悪臭害虫等の発生があり畜産振興上町当局としても頭痛の種であったわけです。

そこで、昭和52,53年度に県が実施した畜産環境基礎調査事業に基づいて、昭和54年度から56年度までの

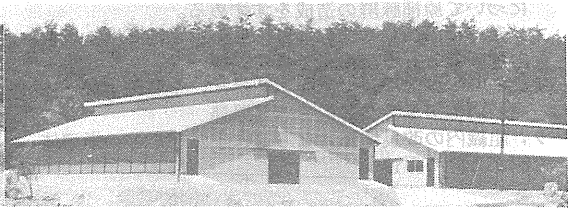
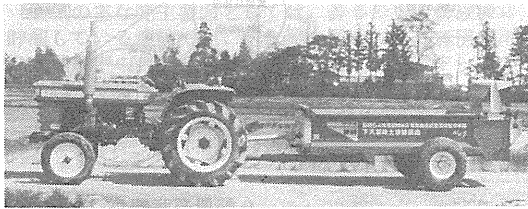


(野積堆肥状況)

3カ年継続事業で県営の畜産環境保全事業を実施中であり畜産に起因する環境汚染の防止と、地力の増強を図り生活環境と調和のとれた畜産振興を推進しており昭和54年度に実施した事業内容は次のとおりであります。

- 1 耕土培養組合 9組合(事業参加者 93名)
- 2 養豚団地利用組合 2組合(移転団地養豚)
  - (1)繁殖豚舎 1棟 238㎡ 堆肥舎 1棟 64.5㎡
  - (2)肥育豚舎 2棟 678㎡
- 3 農道整備 3,000m (舗装幅員4m側溝整備)
- 4 利用機械
  - トラクター29台 フロントローダー15台
  - マニャスプレッター26台 自走式ローダー15台
  - 尿ポンプ2台 ダンプトラック1台
  - ベルトコンベアー1台 トレーラー1台
- 5 施設
  - 堆肥舎 5棟 (204㎡)
  - 堆肥盤 2基 (57㎡) 機械格納庫1棟 (33㎡)
- 6 事業費

199,606千円



飼い上手 育て上手は……  
みのに……で  
動物薬品・獣医器具総代理店  
**株式会社 美濃谷**

本店 山形市 仙台店 鶴岡店 いわき店	山形市蔵王成沢字町浦491~2 TEL:893121 仙台市山田字羽黒堂5番216 TEL:494306 鶴岡市大字布目字東通り57~1 TEL:240963 いわき市常磐湯本栄田3 TEL:0246440300
---------------------------------	---

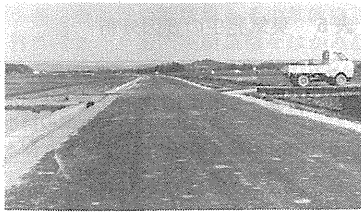
こくておいしい大型びん……

# 森永 ハイグレード牛乳

**宮酪乳業株式会社**

仙台市一番町2-4-28  
TEL(代)23-9101

また、昭和55年度の計画については、次のとおり予定しております。



1 耕土培養組合

農道整備

10 組合 (事業参加者 120名)

- 2 養豚団地利用組合 繁殖豚舎 165 m<sup>2</sup>
- 3 農道整備 1,800 m (舗装幅員 4 m 側溝整備等) 橋梁 1カ所
- 4 利用機械 トラクター35台 フロントローダー8台 マニャスプレッター28台 自走式ローダー4台 トレーラー6台 ベルトコンベアー2台 ダンプ1台 バキュームカー1台 尿ポンプ1台 尿タンク1台 キャリアカー(自走式1基1台)
- 5 施設 堆肥舎 5棟 262 m<sup>2</sup> 堆肥盤 1基 60 m<sup>2</sup> 機械格納庫 1棟 30 m<sup>2</sup>
- 6 事業費 約200,000千円

以上の事業を現在計画検討中であり完成のあかつきには畜産環境汚染のない農地の地力の維持増進と安心して出来る畜産経営、ひいては、安らぎのある県土、ふるさと農業の建設と当該事業の竣工をめざしている。当管内若柳町の畜産環境整備事業の概要を紹介して、この稿をおわります。

(築館家畜保健衛生所指導課長 菅野 隆一)

新刊図書案内

畜産施設機械要覧 (B5版430頁)  
発行 (社)日本畜産施設機械協会  
定価 2,800円(送料別)

効率的な養豚技術 (B5版180頁)  
発行 (社)中央畜産会  
定価 1,300円(送料200円)

〈畜試便り〉

畜舎臭気の実態調査と防除対策

佐藤 島夫

1. はじめに

近年、畜産農家から発生する臭気が悪臭として問題にされつつあり、その対応が望まれている。そこで県内の養豚農家や当場の畜舎等を調査対象とし、畜舎内外の臭気強度と臭気発生要因、悪臭防止上の対策について試みたところ、調査結果の成績を得たので、その概要について紹介する。

2. 調査方法

(1)調査対象農家

農家名	飼養頭数	経営形態	ふん尿処理状況	周囲環境条件
A	200	肥育繁殖	敷料(イワラ)毎日取出し、豚舎周囲野積	平坦地住宅街
B	200	肥育	敷料(イワラ)毎日取出し、堆肥舎堆積	山間地農山村
C	50	繁殖	敷料(イワラ)毎日取出し、堆肥盤堆積	山間地純農村
D	40	繁殖	敷料(オガクズ)毎日取出し、堆肥盤堆積	平坦地純農村
E	50	繁殖	敷料(イワラ・オガクズ)毎日取出し、堆肥盤堆積	平坦地純農村
F	350	肥育	敷料(イワラ)毎日取出し、堆肥舎堆積	山間地農山村

(2)実施場所

古川市、小牛田町、鹿島台町、涌谷町、田尻町、宮城県畜産試験場

(3)臭気の採取地点及び方法

養豚農家の調査：畜舎内部及び敷地(境界)内の2地点において、耐圧容器を用い、AM 9.30時~11.00時に約15~20秒で試料約20ℓ採取した。

当場における調査：畜舎内部の中央、表2のとおりである。

表2. 飼養頭数及び臭気採取時刻

項目 豚舎名	常時飼養頭数	臭気採取時刻		温湿度測定時刻	備考
		午前	午後		
A	10(種雌豚)	8.10~8.40	13.00~13.30	臭気採取時	臭気採取(午前はボロ出し前に実施)
B	45(肥育豚)	〃	〃	〃	〃

畜産の総合商社

- 畜舎消毒装置 ミヤノスプレー
- 送風機 CAファン
- FRP(一輪車用) ミヤノバケット



株式会社 **ミヤノ商事**

泉市南光台四丁目3番16号  
TEL (0222) 71-1054~5



畜産経営の効率化に

くみあい配合飼料

家畜の健康増進に

くみあい動物薬

農協・宮城県経済連

(4)臭気測定方法

三点比較式臭気採点法実施要領に基づき実施した。

(5)舎内のボロ出し、清掃による臭気測定法

調査前日(日曜日)にボロ出し、清掃を中止して月曜～水曜日(3日間)、連続臭気を採取して測定した。

(6)舎内の開窓による臭気測定法

午後臭気採取直後(13.30時～14.10時)30分間開窓し、直ちに閉窓後、臭気を採取測定した。

3. 調査結果

(1) 畜舎内外の臭気強度

表3 畜舎内臭気強度

調査月	農家名	農家名					
		A	B	C	D	E	F
53.	7	3.3	0.6	1.3	2.0	2.1	3.7
	9	4.0	2.3	2.2	1.0	1.0	3.3
	11	3.4	3.1	2.3	2.0	2.0	2.1
	1	2.5	2.0	2.8	1.7	1.7	2.9
	5	3.4	1.5	3.3	1.7	1.7	1.7
	6	-	-	-	3.9	2.0	2.4
	7	4.9	0.0	1.1	1.9	1.6	3.0
平均	均	3.6	1.6	2.5	1.8	1.8	2.8

各対象農家における畜舎内の臭気強度は表3に示すとおり、A農家3.6で最も高く、次いでF2.8、C2.5であり、その他の農家は1.8～1.6の範囲内であった。

表4 敷地内(境界)臭気強度

調査月	農家名	敷地(境界)内の臭気強度					
		A	B	C	D	E	F
53.	7	2.6	0.5	0.3	1.0	1.0	1.6
	9	2.8	0.7	1.3	1.5	0.4	1.0
	11	3.1	1.5	1.4	0.7	1.3	1.5
	1	1.1	0.8	0.4	0.5	0.5	0.8
	5	3.1	0.0	1.2	0.4	1.3	1.0
	6	-	-	2.5	1.9	1.3	1.3
	7	2.3	0.3	2.4	1.6	0.8	0.4
平均	均	2.5	0.6	1.4	1.1	0.9	1.1

敷地(境界)内の臭気強度は表4のとおり、Aを除く対象農家は1.4以下で、県公害悪臭防止法に基づく、敷地境界内における三点比較式臭気採点法による基準

値1.8より極めて低く、全般的に低い傾向にあった。

(2)臭気発生要因

臭気的主要発生要因としては、表5の如く排尿溝に貯留している濃縮汚泥、給水器の漏水による豚房の汚染、堆肥の長期野積、排水不良によるパドックの汚染等と推察された。

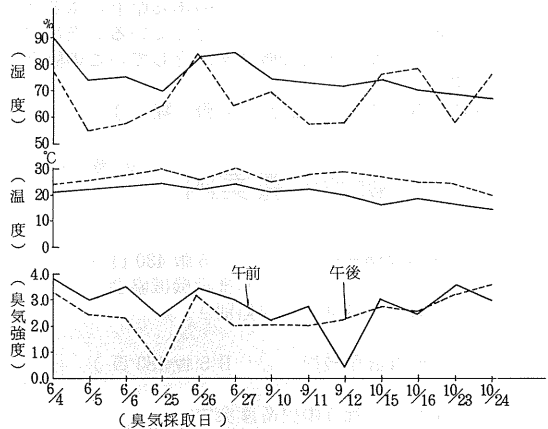
表5 臭気発生の変因分析

農家名	臭気発生の変因
A	不適正なボロ出し清掃による豚房の汚染、厩肥の処理(豚舎内通路に堆積)排尿溝の排水不良、尿溜の漏水
B	排尿溝残尿濃縮汚泥、給水器の漏水による豚房の汚染
C	堆肥の処理(長期間の野積)
D	“( )”
E	“( )”, 降水直後パドックの排水不良による泥状化
F	密飼いによる豚房の汚染、排水溝残尿濃縮汚泥

(3)舎内温湿度と臭気強度

舎内温度の高低による臭気強度の変動は図1に示すとおり、殆んど認められなかった。舎内湿度と臭気強度との関係では、湿度が高まるにつれて臭気強度が高くなる傾向を示した。従って豚房の汚染度が進むと、舎内湿度が高まり、臭気強度が増加することが判明した。畜舎臭気の発生を減少させるには、畜舎構造と併せて豚房が常に乾燥状態に保つよう適切な飼育管理が絶対条件と言えよう。

図1. A舎内の温度と湿度との臭気強度の変動



牧場用柵には  
強く美しくスマートな

## 東伸製鋼牧柵を!

製造元 東伸製鋼(株)仙台営業所  
仙台市一番町二丁目7-5 TEL 027053

販売元 塚本商事機械(株)東北出張所  
仙台市花京院二丁目1 TEL 627771

代理店 本山振興株式会社  
仙台市昭和町6番10号 TEL 346221

システム農業をクリエイトする

# STAR

タフで働きものの  
Mr 3000にチビの  
Mr 2000が新登場

THB 2000

スター農機株式会社

仙台出張所 983 仙台市福田町2丁目4-20 佐正ビル内  
0222-58-7301



表6 ボロ出し清掃による臭気強度

月日	時刻	午前			午後		
		月	火	水	月	火	水
6/4~6		3.9	3.0	3.3	3.6	2.6	2.4
6/25~27		2.6	3.4	3.0	2.4	3.3	2.1
9/10~12		2.1	2.8	0.9	2.1	1.9	2.0
10/15~17		3.0	2.5	2.3	3.6	2.6	2.4
10/23~25		3.8	2.7	2.5	3.2	3.2	2.6
平均		3.1	2.9	2.4	3.0	2.7	2.3

(4)ボロ出し清掃と臭気強度  
ボロ出し清掃中止後の臭気強度の変動は、表6のとおり、初日、午前3.1、午後3.0で最終日の3

日目では、午前、午後、夫々2.4、2.3と日毎に顕著に低下する傾向が明らかに認められた。

表7 舎内開窓前後における臭気強度

月日	区分	開窓前		開窓後	
		採取時刻	臭気強度	採取時刻	臭気強度
12.13		13.40	3.1	14.15	2.9
12.18		13.30	3.0	14.05	1.7
12.21		14.00	3.6	14.35	3.2
平均			3.2		2.6

(5)舎内の開窓前後における臭気強度

表7に示すとおり短時間ではあるが、舎内と舎外と空気の入替えにより臭気強度は低下し、その効果があるものと思われた。

以上、実態調査の結果を要約すると、対象農家の大部分は、県公害臭防止条例の基準に照し、下廻る成績を得たが、更に悪臭発生の軽減を図るためには、周到な管理が可能な範囲内の適正規模の飼育を志向すると共に、各養豚農家において、臭気発生要因と思われる上記個所に留意しつつ畜舎内外の環境整備について改善することが肝要と考えられる。

なお、舎内湿度が高くなるにつれて臭気強度が高まることが認められ、且つボロ出しによる清掃効果も顕著であることから、畜舎構造や適切な飼育管理が必要とされる。また、冬期間の舎内の換気は臭気強度の低下に効果がみられるので、時々開窓するか、人工的に通風することが望まれる。

(研究第3部)

## 酪農コンサルテーション雑感

私は、一昨年から非常勤コンサルタントとして酪農部門の診断に参画させていただいている。

コンサルテーションは、受診農家の当該年度における記録を丹念に調べる必要があるために調査の時期がどうしても1月から3月頃に集中しがちである。

丁度この頃は、試験場においても、その年の試験成績のとりまとめや明年度の試験設計の作成と、それに関連する国などとの各種検討会が続く多忙な時期でもあるので折角コンサルテーションとしての招きがあっても無調法をしてしまうこともしばしばで、畜産会にはご迷惑をかけてしまうことも少くない。

しかし、私にとってコンサルテーションは、経営形態を異にするいろいろな酪農家と持しよくする唯一の場であり、個々の農家がきびしい現代に如何に対応しているか、さらに未来像をどのようにとらえているかをちかに勉強できるまたとない機会とも考えているので、努めてチームの一員として参加することとしている。

経営診断は、何よりも正しい記録をもとに経営内容を適確に把握することが基本となるが、全く記帳がなかったり、記録洩れがあったりすると計数のとりまとめにはかなりの時間を費し、受診農家にはむしろ気の毒な感じさえすることすらある。

聞き取りが小半日に及んでも面倒くささらずに受け答えしてくれるのは、調査の時期が幸い農閑期であること、自分の経営改善に役立つという期待感が寄せられているからだと思う。

私は、診断事例がまだ少ないので余り大きな口はたたけないがこれまでの経験を通じて私なりに感じたことを以下に述べてみる。

1 記録が十分でない。



### 養豚界に奉仕する 日ワクの豚用ワクチン

供給 農協 全農 経済連  
製造 日本ワクチン株式会社

栃木県那須郡西那須野町799番地 (西那須野駅下車)  
電話 (02873) 6-0430 ㊦329-27

極端なことを言っておしかりを受けるかも知れないが、記録の良否と経営の良しあし(今後の見通しを含めて)とは一致しているような気がしてならない。

2 自給飼料の絶対量が不足しており、エサの組合せにも改善すべき点が多く認められる。

飼養規模が自己の経営する耕地面積とマッチするのが少なく、粗飼料の相当量を安易な購入に依存している。

3 繁殖障害(不受胎)牛が多く、経営安定化に大きなブレーキになっている。

このような酪農家ほど牛の出し入れ(売買)が頻繁に行なわれている。また、高泌乳牛で、これから最高能力を期待しようとする年齢時に意外なほど不受胎になっているケースが多い。

畜産の中でも、酪農は土地と資本はもとより優れた経営手腕が要求されているので、酪農家のなかには特に粗飼料の生産なり、血統や飼養法についてかなり興行のある勉強をしている方もいる。

私が診断した酪農家の多くには昨今話題になっている「渡辺高俊」氏著のエサの本が必ずといってよいほど書棚に入っているのが目につく。

同氏は、千葉県下の一共済獣医師として現在も活躍されているが、その発想は繁殖障害と粗飼料との関連について既往の試験データに、さらに自らの手で多数の実例を積み重ねて得た結果から適正な給与基準をあげ、いわゆる二本立給与法を提唱したものである。

そのあらましを紹介すると、乳牛に対する飼料の給与は、次の基準によることが最も高い受胎成績が得られるとしている。

乳生産T D N……日本飼養標準の80～120% (並牛は100～130%)

乳生産D C P……日本飼養標準の100～150%

飼料D M ……体重比2.5～3.5% (並牛は2.5～3.0%)

粗飼料D M ……体重比1.0～1.8% (並牛は1.0～1.6%)

以上のことから氏は次の二本立給与の規格を設定している。

① 基礎飼料(維持飼料を主とする飼料)

D M ……体重の $1.6 \pm 0.2\%$  (一般に高乳量は低く、低乳量は高くなる)

T D N ……体重の $1 \pm 0.1\%$

N R …… $8.5 \pm 1$  (一部産乳飼料として)

② 変数飼料(産乳飼料)

D C P …… $13.3 \pm 0.5$

N R …… $4 \pm 0.2$

ただし、飼料によっては(特にT D Nが60%を割っているもの、または70%以上のもの)、二つの規格が両立しない場合は、N Rだけを規格に合わせる。

経営診断の事例の中には、日本飼養標準より下廻っているとされるものも一部に見受けられるが、大部分は

乾物量は略充足しているものの、D C P、T D N量が高く、特にD C Pの場合は200%を越すものすらみられる。これら給与の実態は濃厚飼料の多給と比較的栄養比の狭い相当量の粗飼料が仕向けられているため、要は給与量の問題と組み合わせ内容をさらに検討する必要を痛感させられる。

先に述べた二本立給与法にも飼料の組み合わせ方法や事例も数多く示されているが、内容を充分理解しないままに単に飼料計算にのみとらわれた場合、結果的には「生兵法ケガの元」となりかねない。心して取り組む必要がある。

酪農をとりまく情勢はまことにきびしく、「牛乳の生産過剰」、「配合飼料の大幅値上」というダブルパンチで80年代の幕が開けられた。

しかも、昨今の石油エネルギー等経済事情を考えると、長びくとも短期に解決しそうなものはない。

そこで、80年代の難関を突破して生き残る経営のあり方を真剣に考えなければならないが、このためには今後、高能率経営の展開こそが必要となってくるのではなかろうか。いささか願望を述べて稿をとじたい。

第1には、酪農家自らが経営者、企業者意識をもち、記帳を徹底して損益等見分けられるよう数字に強くなることである。

第2は、生産費の問題であるが、コストの引き下げを行うことは論をまたない。直接関係する粗飼料の生産については、種類、品種、施肥、輪作体系等耕種法の工夫と改善により単位面積当りの収量をアップすることが望まれる。水田転作として減反に苦慮している向きも窺われるが、今こそ自給度向上に役立てるチャンスと考えたい。

第3には、乳牛の質的向上があげられる。規模拡大によって牛乳生産量を増やしてきた時代はすでに過ぎていく。これらの時代とは縁を切り低能力牛を淘汰して牛群水準のレベルアップをはかり、1頭当りの乳量を増大することによって乳生産量の維持増加につなぐ工夫が欲しい。80年代はまさに頭数カットの時代と言えよう。

第4には、酪農家自らが「牛乳は飲むだけでなく食べるものである」という認識を深め、積極的に家庭料理に取り入れるなどの運動を強力に展開したいものである。

最後に、最近の牛肉事情を考えた場合、酪農経営においても肉生産を含めた乳肉総合の収益を目標とした経営も自然の理と考えられる。

(県畜産試験場研究第三部長 古山元彦)

美と健康に牛乳を

# 子取り用めす豚飼養頭数

## 実態調査結果について

### 宮城県畜産会

豚肉の需給動向に対応し、中長期展望にたった計画生産を組織的に推進するため、協議会が設置されておりますが、本県には全国協議会から、子取り用めす豚1,500頭割当され調整することとなりましたが、その期間は昭和54年11月1日現在と昭和55年2月1日現在における頭数をもって実施されました。調査は県並びに関係団体等の協力により、聴取を主体に実態について調査を実施しましたが、その結果は別表のとおりです。

なお、諸務ご多用中のところ本調査にご協力頂きました県畜産課、各家畜保健衛生所、家畜畜産物衛生指導協会並びに生産者各位の皆さまに対し厚く御礼申し上げます。

子取り用めす豚飼養頭数調集計表

家保名	54.11.1		55.2.1		比較増減		対11月比	
	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数
大河原	4,855	345	4,286	336	△ 569	△ 9	88.3	97.4
仙台	3,467	384	2,901	366	△ 566	△ 18	83.7	95.3
古川	20,734	2,895	17,233	2,739	△ 3,501	△ 156	83.1	94.6
築館	6,117	822	4,933	783	△ 1,184	△ 39	80.6	95.3
迫	15,952	2,421	13,127	2,316	△ 2,825	△ 105	82.3	95.7
石巻	6,703	764	5,830	723	△ 873	△ 36	87.0	95.3
計	57,828	7,631	48,310	7,268	△ 9,518	△ 363	83.5	95.2

# 家畜改良は 人工授精と登録から

仙台市上杉1丁目16番3号  
宮城県畜産農業協同組合連合会

TEL(0222) 21-6277~8, 23-6027

# 理想

## ストレス

「ロマンスグレー」ならぬ「ハイティーングレー」がふえている—つまり、高校生の中に若シラガ族が増えているという話があります。また、30代のエリート社員の中には急性の胃潰瘍になる人が多く、同じ世代の女性の9倍とのデータがあり、これらの異常現象はストレスに基調すると言われていいる。最近の日本は、経済的にも階級的にも自由と平和が進み、欲求が多様化し、それがかえって不安や緊張感をかきたててストレスを起させやすい世相になっているようです。ストレスは、同じ社会や環境の中にも、人によって感じ方や捉え方が異なりその人個人の状態に左右されることが多く、精神衛生のよい人、心が健康な人はストレスにも強いといわれています。

○ 自分の性格はどんな型だろう。

ストレス退治法の第一は、まず自分の性格と素質を充分に把握することでしょう。

クレッチマーの性格分類によると、一般的に肥満型の人は、四角な顔型でなで肩、毛はちじれ毛、社交的ですが小心です。闘士型の人は、筋肉質でイカリ肩、毛は堅く竹を割ったような気性でねばりっこく、男性的ですが比較的単純です。また、細長型の人は、全体に体型がヒョロ長く、非社交的で孤独を愛し、思考型のタイプが多いようです。

実際には、この三つの基本型が入りまじってさまざまな組合せができており、たとえば肥満闘士型の人は、社交的、男性的で毛は肥満タイプのウェーブの毛で、肩は闘士型のイカリ肩といったこととなりますが、自分の性格を客観的につかむことができれば自分の適応を知り、仕事や環境への対応に役立てることができましょう。

○ 家族や仲間と離れよう

ストレス退治法の第二は、現在の環境から一時的にのがれて心の余裕を作りだすこと。この方法は、ホーソン実験でも明らかにされているが、いつも家族や職場の人たちとでなく、自分の環境とはまったく無関係の人たちと楽しむ機会をもつことがポイントです。

ゴルフ、野球など自分の好きなスポーツを通じて、また、囲碁や将棋、お茶、お花など自分の興味のある芸事を通じてよい、とにかくまったく環境のちがった人たちの集団の中で自分を発散することがストレス解消になる。

このような別の仲間を作りにくい人は、自分の気持を日記に書きつけることや、趣味を楽しむなど要は自分の好きなことをしながら頭の中を一時、他のものとうつつくことが必要です。

○ 共感者はいるだろうか。

第三は、自分に共感してくれる話し相手を作ること

す。この場合の共感者とは、うれしいことは嬉しい、悲しいことは悲しいと卒直に共感してくれる人です。その人と話をすることによって気持ちが整理され、自分自身で解決策や結論が見い出せることがストレスの解消につながると思う。裏をかえせば自分が他人のよき話し相手になるコツでもあるわけです。

近ごろは、人間も、動物もストレスが基因となっている病気が多いようですが、ちょっとした心がまえと努力によって、金では買えない日々のスガガしい気分と心の健康を保ちたいものです。

(加藤幸三)

### 牛乳のむ人は .....

### 胃ガンにかかる率が低い

—国立ガンセンター疫学部長

平山 雄氏資料より—

牛乳をのむ人、のまない人の違いがはっきりできています。

○カルシウム摂取量の多い地域は胃ガンによる死亡率が低い。

カルシウム □胃ガン死亡率とカルシウム摂取量との関係を380mg以上とっている地域では、ガンによる死亡率が低く、摂取量がそれ以下の地域では死亡率が高いことが国民栄養調査でわかりました。

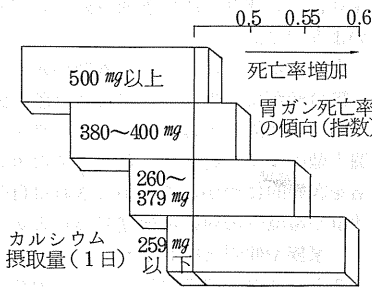
※全国690市郡の栄養調査(1957)

計画調査(29保健所26万人追跡調査)

牛乳	(1966年1月~6月観察分)		
	調査対象	胃がん死亡	死亡率(10万対)
のまない	104,131人	30人	28.8
時々・まれ	93,442人	21人	22.5
毎日	53,696人	7人	13.0

宮城、愛知、大阪、兵庫、岡山、鹿児島 の6府県に住む40歳以上の成人・26万5,118人について。

○毎日のめば、やっぱり安心!  
次の表のとおり調査期間中にガンでなくなった人は10万人に対する死亡率になおすと28.8対13.0となり2倍以上の差があるということです。



## 人物紹介



### 守屋 春男氏

氏は、昭和10年8月宮城県農学校獣医科を卒業され、翌年満州国馬政局に勤務、昭和18年7月まで海外において畜産奨励に情熱を傾けられました。

帰国後宮城県経済部農務課を振り出しに、宮城黒川地方事務所、宮城黒川、刈田家畜保健衛生所、昭和29年10月より本吉、桃生牡鹿、登米、大崎、亶理名取、石巻各家畜保健衛生所長、昭和48年4月畜産試験場第二部長など数多くの要職につかれ、本県畜産振興に多大の足跡を残されました。

昭和50年8月県を勇退、県畜産会常勤畜産コンサルタントとして畜産農家の経営指導に当り、経営の安定合理化に努められ本年8月退職されました。

守屋さんは以前に胃潰瘍をわずらい以後健康には細心の注意をはらっておられます。若かりし頃は中国の老酒で相当きたえたそうですが現在はたしなむ程度ですが、酒席では洪い声で得意の「のど」を披露するなどなかなかの芸人です。

畜産情勢が一段と厳しい現在、長い経験と知識、そして卓越した指導力を有する守屋さんが第一線を退りぞかれたことは非常に寂しい限りです。今後は可愛いお孫さんの相手をし、好きな草花、盆栽の手入等悠々自適の生活を送られるとのことですが、ご多幸をお祈り申し上げます。

(菅原)

## 畜産物の市況

種目	規格	単価	価格円	摘要
卵		1kg	299	卸売価格4月平均
ブロイラー	A級	上体1kg	281	〃
豚肉	上	枝肉1kg	607	〃
	中	〃	560	〃
和牛メス	上	〃	2,165	〃
	〃ヌキ	上	2,164	〃
〃	〃ヌキ	中	1,884	〃
	〃	中	1,467	〃
肉乳牛メス	〃	中	1,360	〃
	〃	中	〃	〃
和牛子牛		1頭	407,437	5月10日小牛田市場
子豚		〃	24,733	5月15日 〃

卵、ブロイラー、豚肉、牛肉価格…県経済連調べ  
和牛子牛、子豚価格…県畜連調べ

## 人の動き

宮城県畜産会

5月1日付

新	旧	氏名
畜産コンサルタント補	(新採)	山田文彦

宮城県畜産農協連

4月7日付

(退職)	総務課長	鈴木秀男
総務課長	総務係長	大野朝男